

それは歯肉退縮かもしません。

ここ数年で、「歯茎が下がって歯が長くなつたな」と悩まれていませんか？歯茎が下がる病気には、「歯周炎」と「歯肉退縮」があります。「歯周炎」はばい菌が原因で起きた病気で、ほぼ完全に予防ができます。また、治療法も進歩しているため、ほとんど治すことができるようになりました(第3・7・13・15・17回参照)。今回は、もう1つの「歯肉退縮」について説明します。

歯肉退縮は歯を失う原因になります

「歯肉退縮」が起こると、歯の根っこが出てきて虫歯になりやすくなります(図1)。根っこの中の3本は、茶色の根っこが出てきています。根っこが長くなり、茶色の根っこが出てきています。

歯肉退縮は歯を失う原因になります



□ 齒肉退縮のチェックリスト

①～④に1つでもチェックが付いたら要注意です。
□ ①周りの歯と比べて、歯茎の高さが違う歯がある。
□ ②歯茎の高さががたがた。
□ ③数年前に比べて、歯が長くなってきた。
□ ④茶色の根っこが出てきている。
□ ⑤専門家に歯磨き指導を受けたことがない。
□ ⑥矯正治療を受けたことがある。

歯肉退縮のチェックリスト

①～④に1つでもチェックが付いたら要注意です。

日本人は欧米人に比べて歯茎が薄い人が多いため、特に注意が必要です。矯正治療で歯の位置が変わり、歯茎がついて来ずに、歯茎が下がることもあります。まずは「歯肉退縮」のチェックリストで確かめてみて下さい(図2)。



長崎大学歯学部大学院卒業後、米国スタンフォード大学医学部研究員を務める、歯周病に関する国際的な論文発表などを重ね、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。

TEL.0942-81-5410
住／鳥栖市蔵上2丁目187番地 URL www.10shika.jp

「歯肉退縮」の要因は、「強い力での乱暴な歯磨き」「薄い歯茎」「歯列矯正治療」などが挙げられます。要因が重なると、より「歯肉退縮」が起きやすくなります。自己流でゴシゴシと強く歯磨きをしていませんか？しっかりと歯を磨いているつもりでも、逆に歯肉の織維を傷つけ、歯茎が下がってしまいます。ガッカリとした厚い歯茎を持っている人もいれば、とても薄い歯茎を持つ人もいます。もともと

がよくあります。もともと歯が下がりやすくなっています。日本人は欧米人に比べて歯茎が薄い人が多いため、特に注意が必要です。矯正治療で歯の位置が変わることで、歯周病の治療法としては、正しい歯磨きの仕方を専門家(歯科医師や歯科衛生士など)に指導してもらうことや、薄い歯茎を厚い歯茎に改善すること(再生療法)などが挙げられます。治療法は確立されており、ほとんどのケースで改善することができます(図3)。矯正治療の後でも改善することができますので、専門家にぜひご相談下さい。

歯肉退縮を治し、一生美しい自分の歯を使いましょう

※高度先進医療は、保険外診療になることがあります。



▲歯肉退縮を再生療法で治療した例。オレンジの部分が再生され、歯肉退縮が改善した。

医療法人 くらのうえ市丸歯科



院長 市丸英二(歯学博士)

- ・日本歯周病学会認定歯周病専門医・指導医
- ・長崎大学大学院(歯周病学)卒

副院長 山口竜亮(歯学博士)
・長崎大学大学院(歯周病学)卒



お問い合わせ・ご予約

☎0942-81-5410

鳥栖市蔵上2丁目187番地

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00～13:00	○		祝日のある週のみ診療	○	10:00～14:00	○	9:00～13:00
15:00～19:00	○		休	○	休	○	休

くらのうえ市丸歯科 検索 <http://www.10shika.jp>

